

回復期リハビリテーション病棟 (東1病棟)

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管疾患、大腿骨、脊椎、骨盤などの骨折、その他の急性期治療を終えて症状が安定した患者様に対して、

集中的にリハビリテーションを行い、

自宅退院を目指して支援する病棟です。

私たちの大切にしたいこと

患者様やご家族の**希望をかなえ、早期退院を支援**することです。

当院の回復期リハビリテーション病棟の特徴

1. 総合病院の中にある病棟なので安心

転院をすることなく、急性期治療を終えた段階でスムーズに回復期リハビリテーション病棟へ移動できます。状態が変化したときは急性期病棟に速やかに移り、治療を始めることができます。

2. 質の高い生活密着型リハビリ

急性期病棟より長い時間・土日を含めて毎日、患者様の生活に合わせたオーダーメイドのリハビリを行うことができます。

病棟生活では運動着に着替え、日中はベッドで生活するのではなく、ラウンジや食堂を活用しながら退院後の生活に近づけることができます。

3. リハビリ訓練以外の時間の充実

広いラウンジや食堂でリハビリ以外の時間もレクリエーションや体操を行うことで、楽しみながら日常生活活動をすることができます。

患者さんの生活を考えた私たちの取り組み

- ✓ 食事はベッドではなく椅子に座っておこない、口から食べていただく取り組みを推進している
- ✓ 口腔ケアは毎食後に洗面所で実施している
- ✓ 排泄はトイレで行い、オムツは極力使用しないよう支援している
- ✓ 更衣は毎日行うように支援している
- ✓ レクリエーションをリハビリの一環としてして一緒に行っている

回り八看護のHappy体験

- 患者さんとゆっくりコミュニケーションがとれる
- 治療ではなく患者さんの気持ち、希望を優先できる
- 話せる患者さんに、「がんばりましょう」と言える
- 患者さんを置いてきぼりにせず、一緒に考えることができる
- 元気になって顔を見せに来てくれる
- 人間の回復力がすごいと感ずることが出来る
- 患者さんと一緒に楽しくリハビリをする時間がある
- 回り八認定看護師を取得することが自信につながり、広い視野で回り八看護ができる
- 他職種チームなので役割に関係なく相談しやすい

目標カレンダー



入院（入棟）から退院までの流れ

①入棟時評価
(病棟生活の確認)

③カンファレンス
(各担当者が集まり、患者様の状態、リハビリの進行状況を共有し、問題点の話し合い、目標カレンダーを立案します)

②入棟後2-3週間で医師から説明
(現状と今後のリハビリスケジュール)

④退院準備
(必要時に家屋調査や退院前カンファレンスを行います)

一緒に患者さんの希望をかなえましょう